



宮城エリア 2	仙台北周辺版 85,000 部発行 (内ポスティング 18,800 部)	【新聞折込】仙台市泉区・富谷市の全域、仙台市青葉区の一部に配布しております。(河北新報・読売新聞に折込) 【ポスティング】仙台市泉区・青葉区の仙台市地下鉄南北線沿線及び、富谷市の中心部さらに仙台市宮城野区の一部にも配布しております。
------------	--	---

## 【セールスポイント】

1. 仙台市泉区・富谷市の全域に限らず、仙台市青葉区の一部もカバーしているため、広範囲から人材確保が見込めます。
2. マイカー利用による通勤の流れも考慮し、主要道路の国道 4 号・県道 37 号（仙台北環状線）を網羅し、通勤圏にこだわったエリア設定となっております。また、学生層や 20 代～30 代の世帯向けに地下鉄南北線沿線や新興住宅地には、新聞折込の他にポスティングも同時配布。
3. 仙台市地下鉄 泉中央駅付近は駅前広場・ショッピングセンターが整備され、交通のアクセスの便利さからも多くのマンション建設が進んでおります。また、全国推計人口が上位で仙台市の北隣に位置する富谷市にも配布することで、広域エリアのカバーが可能となっております。当媒体は新聞購読者層から若年層までより多くの効果が期待できます。

## 【このエリアの特性】

仙台市泉区は市内北部に位置し、泉ヶ岳のふもとに東西にかけて長く広がり、自然に恵まれた地域です。泉中央駅付近は商業・業務が集積された副都心として発展を遂げ、人口も増加しており、平成 28 年秋には病院棟と店舗棟が開業しました。北部周辺は先端産業を中心とし、企業や商業施設の整備も進んでおります。富谷市は国道 4 号をメイン道路とし、仙台市のベッドタウンとして人口増加を続け、平成 28 年 10 月に市へと移行されました。泉中央駅まで 20 分～30 分、黒川郡大和町の工業団地まで 10 分～20 分となっております。

### ※隣接する版と同時利用で、より効果的な募集に！

隣接版は仙台南周辺版、宮城県北版、宮城県東部版となっております。車通勤が主体で隣接する地域に工業団地があり、労働人口も多いため隣接版も十分通勤圏内となります。

## 【他紙との比較（当版の特徴）】

他紙はイレギュラーで河北エリアのみ狭い範囲で発行されているため、新聞折込としての信用性・認知度は当版の方が高く、信頼を寄せられております。